

ユネスコ世界ジオパーク 再認定審査が行われました！



ハン・ジンファンさん(左)ジン・ジシンさん(右)

ユネスコ世界ジオパーク認定地には、4年に1度の再認定審査が義務付けられています。令和5年7月8～12日、洞爺湖有珠山ジオパークを2人の審査員が訪れました。

【どんな人が来たの？】

今回の審査では、ジン・ジシンさん（中国・房山ジオパーク副所長）とハン・ジンファンさん（中国・中国旅游研究員の研究員）が来域しました。

【現地視察の様子】



7/9 三松正夫記念館

【どんな審査をしたの？】

事前に提出した活動報告書をもとに、見どころの保全状況、ガイド活動、案内設備、ジオパークとしてのPRなど、約300項目をひとつひとつチェックします。

【結果にはどんな種類があるの？】

① グリーンカード

今後4年間、ユネスコ世界ジオパークとしての活動が認められます。

② イエローカード

重大な問題（地質の見どころの開発や損壊など）があり、2年後に再び審査が必要という判断。2年後の審査でも改善されない場合、失格（レッドカード）となります。



7/9 豊浦町アイヌ文化情報発信施設イコリ

現地視察を終えた審査員からは、当地域の地球科学的価値や、火山と共生してきた歴史、そこではぐくまれた産業、そして減災活動等について高く評価するコメントが出されました。

審査員が書いた報告書に基づき、9月中旬にアフリカのモロッコで開催されるユネスコ世界ジオパークネットワーク会議で審議され、最終結果が決まる予定です。



7/10 北黄金貝塚